

検討アジェンダ (案)

2011年2月22日
知のデジタルアーカイブに関する研究会

1 検討の目的

図書・出版物、公文書、美術品・博物館、歴史資料等公共的な知的資産の総デジタル化を進め、インターネット上で電子情報として共有・利用できる仕組み（デジタルアーカイブ）の構築による知の地域づくりに向けて、関係者が広く集まり、デジタル情報資源の流通促進に係る課題の整理を行い、デジタルアーカイブ間の相互連携の促進を図ることを目的とする。

2 デジタルアーカイブの構築の必要性

図書・出版物、公文書、美術品・博物館、歴史資料等公共的な知的資産の総デジタル化を進め、インターネット上で電子情報として共有・利用できる仕組み（デジタルアーカイブ）の構築はなぜ必要か。

- 図書館、美術館、博物館、歴史資料館等、館種ごとに何を目的としてデジタルアーカイブの構築を進めているのか。
- 各館種において、知的資産のデジタル化の対象は何か。
- 各デジタルアーカイブの利用状況はどうか。
- 各デジタルアーカイブが国民、地域社会、国際社会にもたらす効果は何か。

3 デジタルアーカイブの連携の必要性

図書・出版物、公文書、美術品・博物館、歴史資料等公共的な知的資産のデジタルアーカイブの連携はなぜ必要か。

- 図書館、美術館、博物館、歴史資料館等、館種ごとに何を目的としてデジタルアーカイブの連携を進めているのか。
- 各館種において、デジタルアーカイブの連携を行っている対象（コンテンツ）は何か、連携先はどこか。
- 各デジタルアーカイブを連携させたサービスの利用状況はどうか。
- 各デジタルアーカイブを連携させたサービスが国民、地域社会、国際社会にもたらす効果は何か。

4 デジタルアーカイブの構築と連携を促進していく上での課題

(1) 総論

- 制度面、人材面などデジタルアーカイブが進んでいない背景にある要因は何か。
- 進んでいない背景として、技術的課題がある場合それは何か。
- デジタルアーカイブの利活用に関して成果を上げている事例について、その背景にある要因は何か。

(2) 制度・資金面の課題

デジタルアーカイブを促進するにあたって、解決しなければならない制度的な問題、資金面での課題についてどのように考えるか。

- 著作権の問題、独自資料に関する館の運営方針、寄贈物の寄贈者・所有者との契約上の制約、個人情報等の取扱い等、デジタルアーカイブ構築にあたって課題となっていることは何か。
- 地方財政が厳しい中で、必要な資金をどのように確保するべきか。

(3) 人材・運営体制

デジタルアーカイブによる知の地域づくりを進めるためには、地域・各アーカイブ機関における継続的な取組を主導することができる人材が不可欠であると考えられるが、こうした人材育成の在り方についてどのように考えるか。

- 自治体、各アーカイブ機関の意見を集約して具体化する能力、ICT、デジタルアーカイブに関する能力等、様々な資質が求められると考えられるが、求められる人材像はどのようなものか。
- 自治体、各アーカイブ機関における人材育成の在り方についてどのように推進していくことが望ましいか。
- その他、人材育成を推進する上での課題は何か。

(4) デジタルアーカイブの構築

各アーカイブ機関におけるデジタルアーカイブの構築を進めていくことが必要と考えられるが、構築にあたっての標準的技術についてどのように考えるか。

- 各アーカイブ機関が直面する課題は何か。
- デジタルデータ収集のための最適（標準的）手法は何か。
- 図書館、公文書館、美術館、博物館等、館種ごとの最適（標準的）なメタデータスキーマ、プロトコル、画像フォーマットは何か。
- デジタルアーカイブの長期利用、保守管理面の課題・方策は何か。
- その他、デジタルアーカイブの構築を実現するための課題は何か。

(5) デジタルアーカイブの相互連携

デジタルアーカイブ間の相互連携、統合的利用を促進していく観点からどのような環境整備、技術的課題の解決が求められるか。

- メタデータの相互変換を可能とする手法は何か。
- 効果的なコンテンツアクセスを助けるためのデジタルアーカイブのデータの横断的な検索・利用手法は何か。
- 様々なコンテンツとの出会いをより効果的に支援する利用者支援の在り方は何か。
- その他、デジタルアーカイブの相互連携を推進する上での課題は何か。

(6) その他

上記(1)～(5)のほか、デジタルアーカイブの構築による知の地域づくりに向けて検討すべき事項は何か。